



社会福祉法人 御前崎厚生会
特別養護老人ホーム 灯光園
電話 (0548)63-3729(代表)
FAX 63-4131
灯光園デイサービスセンター
63-6002
灯光園在宅介護支援センター
63-5116
灯光園居宅介護支援事業所
63-5115



夏の空

施設長 澤島久美子

今年は猛暑、皆さんどうお過ごしでしょうか。

灯光園のお年寄りもこの暑さではさすがに外に出ることが少なくなっています。それでも、午前中の内に一回り、と車椅子の方を歩ける方が押してくれたり、歩行器で運動のつもりで、足を上げて歩いたり、よく体を動かしています。リハビリのマシンを使つての機能訓練も頑張つて続けている方が多くいます。

歳をとるのだから、年ごとに衰えはあるのですが、継続して続けていることで、九十歳を過ぎても元気な方が大勢います。九十九歳の方と九十八歳の方が御前崎小学校校歌を歌います。私も時々仲間に入れてもらいます。お二人は四番まで正しい歌詞で歌うので、私は脱帽です。

ユニットリーダー研修に 参加して

主任介護士 八木 麻里

ユニットリーダー研修は、講義研修と講義内容が実際の施設でどのように行われているかを見る実地研修があります。6月の名古屋での講義研修の後、7月に長野県飯田市の特別養護老人ホーム「かざこしの里」へ行ってきました。

講義研修では、今まで行っていたユニットケアの「意味」を知ることが出来ました。ユニットケアの理念です。ユニットケアの目指すものは、「暮らしの継続」です。灯光園に入居してからも、今までの暮らしを続ける事、そのために私達の仕事があります。一番印象に残ったのは、「主役は入居者さんで、私達職員はそこに(勤務時間の間)お邪魔させていただいているのだ」という言葉でした。一人ひとりの「一日の暮らし」に視点を置き、入居者の生活リズムに

添ってユニットの一日の時間が流れます。同時に、今までどう暮らしてきたかも大切だが、「これからどう暮らしたいか」も大切だと学びました。それだけがどう生きたいと思っっているのか、一人ひとりの入居者に向き合う必要があります。

かざこしの里では、3日間入居者として過ごしました。入居者となり職員がどう見えるのかを「感じたい」と思いました。朝、起きた入居者からゆっくりと食事が準備され、パタパタと忙しそうに動く職員はいませんでした。好きなように過ごす、自由な時間の流れがありました。

職員という言葉使いや態度から、理念を大切にして行動していることを感じました。「入居者の二十四時間シート」を中心に記録や話し合いが行なわれており、統一されたチームケアが行われていると感じました。貴重な経験をさせていただきました。この経験を灯光園の介護に活かします。

ユニットケアリーダー研修 研修生を受け入れて

介護士 中村 朋子

灯光園は、ユニットケアリーダー研修実地研修施設となり、研修生を受け入れています。

大きな目的は、ユニットケアはどんなものなのか実際に見て感じてもらうこと。そして、これなら自分たちの施設でもできるんじゃないか、「やってみよう」という意欲を持ってもらうことにあります。

私たちは、実地研修施設の審査に合格出来るようにと、見直し改善をしました。入居者個々の暮らしの継続を考えること。ユニット内が施設ではなく家庭

での生活に思えること等です。同じユニットで数日間入居者体験をした研修生から、
・ 車椅子が少なく家庭的だった。
・ ご飯を炊く匂い、食器を出す音、もうすぐご飯だと感じた。
・ ナースコールの呼び出し音がなかった。

・ いつ排泄に行っているのかわからなかった。

貴重な感想を頂きました。椅子に座ったら車椅子は居室へ戻す。ご飯は一斉に食べる必要はない。ピッチの呼び出し音は消してバイブにする。入居者に合わせたトイレの時間に居室へ誘う。一工夫することで家庭的に思えることを実感しました。入居者の皆さんもそう感じてくれているのだとすると、取り組みが実を結んだと思える研修生の受け入れでした。

感想の中には私たちの来ていない部分を指摘してください。している事もありました。
・ 職員によって入居者の雰囲気が変わる。
・ 職員によって介助方法が違う。

等、職員の資質に関わる事が多くありました。まだまだ勉強です。その人らしく暮らして欲しい施設を目指していきたいと思えます。

「在宅生活の応援団」③ がんばりすぎない介護

灯光園居宅介護支援事業所
ケアマネジャー 大澤 幸子

毎月お宅に訪問して、ご家族の話を聞かせて頂いています。とても頑張っている様子を感じます。私だったらできな
い。そんなにがんばって大丈夫？と心配になることがあります。

自宅の介護は大変な労力です。仕事を持っていたり、介護者が高齢の場合はさらに大変です。体力的にも、気分的にも心配になります。

家族の方に「施設の職員は大変な仕事をよくやっていますね。」と声を掛けて頂く事があります。施設の職員も人間です。大変な事をいつもニコニコこなしているわけではありません。「もうイヤ！疲れちゃった。」なんて弱音もたまに聞かれます。でも、毎日一人で大変な仕事をやっているわけではないのです。

同じ仕事を交替でやっているの
で、大変な思いを共有できている
のです。聞いてもらうだけで
すっきりしたり、大変な時には
交代してもらおうこともできるの
です。嫌だと思っていたことも
他の人から見ると他愛のない事
だったりして、自分の見方や感
じ方が変わる事もあります。施
設ではそんな共働隊で介護の仕
事が出来ているのだと思います。
在宅でも、介護保険のサービ
スを利用して、共働隊を持ちな
がら、息抜きしてリフレッシュ
しながら、疲れを溜め込まない
で、頑張るすぎない介護で在宅
での生活を続けて頂きたいと思
います。私もその共働隊の一員
でありたいと思っていますので
気軽に声をかけていただければ
嬉しいです。



処暑
立秋の次は処暑。暑さが終わると言うが…。朝夕しだいに冷気が加わり気持ちの良い時期になります。



平成29年度 社会福祉法人御前崎厚生会 事業報告

1 本部

御前崎厚生会 評議員会1回開催 理事会3回開催

評議委員会については1回開催し、28年度の決算の承認をいただいた事、役員の選任をしていただき、役員報酬と費用弁償について承認をいただきました。

理事会については3回開きました。

1回目は6月5日で、28年度事業報告、決算報告、評議員会の開催について承認いただきました。2回目は6月21日で理事長の選任で、柏原秀紀理事長に継続をお願いすることになりました。3回目は3月22日で平成30年度の予算、事業計画の承認をいただき、給食業務委託業者との契約の承認をいただきました。他に就業規則の改正について承認をいただきました。

苦情について

合計5件の苦情がありました。みさき88号に掲載しました。

研修について

外部研修 116の研修に167人が参加しました。

内部研修 19の研修会を行い、延べ279人が参加しました。

他に、施設見学を4回受けています。

歯科衛生士が小学校の歯磨き指導に3回出かけています。

老人会で9回話をさせてもらいました。

事故について

保険請求をした事故は8件ありました。入浴用の椅子からの転落の事故は、大変な事故でした。利用者ご本人にも大変痛い思いをさせてしまいましたし、ご家族へも心配をかけました。回復されてほっとしました。事故の検証を行いながら、同じような事故を2度と起こさないように、勉強会を開いています。

2 特別養護老人ホーム灯光園

利用者の状況

平均介護度 3.7 平均年齢 86.4歳 最高齢103歳

前年度に比べ入院が多く利用率が少し減りました。

優先入所の会議は通常は年4回ですが、7回開きました。3回は介護度が軽くなった方の特例入所について話し合いをするために開きました。

29年度はユニットケアに集中的に取り組み始めて2年目です。初めて他施設からユニットリーダー研修生を受け入れました。介護力向上に加え、新しい取り組みを頑張っています。

3 灯光園デイサービスセンター

通所介護利用実績 延べ利用人数 … 9,969人

介護予防・事業対象者利用実績 延べ利用人数 … 101人

障害者通所介護 延べ利用人数 … 43人

1日の利用の平均が32.6人です。昨年より少し減りました。機能訓練指導員の補充ができずマシンのトレーニングができませんでした。趣味活動の支援等、たくさんの方がボランティアに来てくださいました。ありがとうございます。

4 灯光園短期入所生活介護事業所

延べ利用人数 … 4,279人 稼働率 … 83.4% 1日平均11.72人

昨年に比べると減っています。新規で利用して下さる方にリピーターになって頂く工夫が必要です。

5 灯光園居宅介護支援事業所

請求件数 介護給付 … 1,246人 予防給付 … 132件

地域で介護保険サービスを使う皆さんの、介護サービス計画の作成やサービスの調整をしています。ケアマネジャー3人で在宅のお年寄りの支援をしています。介護給付についても予防給付についても数を増やすことができました。

6 障害者短期入所生活介護事業所

利用人数 … 51人 利用延べ人数 … 195人

介護保険の短期入所の空きベッドを利用して行っています。昨年より多くの方にご利用いただきました。

7 灯光園在宅介護支援センター

訪問件数 … 29件

御前崎市包括支援センターと連絡を取りながら、在宅の高齢者の支援をしています。



平成29年度社会福祉法人御前崎厚生会 決算報告

ここに、平成29年度貸借対照表、資金収支計算書、事業活動計算書を公表します。

平成30年3月31日現在

貸 借 対 照 表

(単位 円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産 計	379,805,742	流 動 負 債	55,119,190
現 金 預 金	298,725,831	事 業 未 払 金	4,920,279
事 業 未 収 金	78,133,959	1年以内返済予定 設備資金借入金	22,040,000
未 収 金 補 助 金	897,593	1年以内返済予定 リース債務	732,240
立 替 金	686,687	未 払 い 費 用	5,698,008
前 払 費 用	1,122,908	職 員 預 り 金	3,363,918
前 払 費 用 (1年基準による振替額)	238,764	仮 受 金	0
仮 払 金	0	賞 与 引 当 金	18,364,745
徴 収 不 能 引 当 金	0		
固 定 資 産 計	1,079,664,776	固 定 負 債	182,554,517
基 本 財 産	740,500,713	設 備 資 金 借 入 金	176,320,000
建 物	730,341,913	リ ー ス 債 務	1,708,560
土 地	5,158,800	退 職 給 付 引 当 金	4,525,957
定 期 預 金	5,000,000	負 債 の 部 合 計	237,673,707
そ の 他 の 固 定 資 産	339,164,063		
土 地	45,675,000		
建 物	168,429,701	純 資 産 の 部	
構 築 物	21,442,749	基 本 金	88,240,515
機 械 及 び 装 置	83,558,264	第 1 号 基 本 金	51,070,280
車 両 運 搬 具	1,715,491	第 2 号 基 本 金	32,077,835
器 具 及 び 備 品	6,933,417	第 3 号 基 本 金	5,092,400
有 形 リ ー ス 資 産	2,318,760	国 庫 補 助 金 等 特 別 積 立 金	549,789,971
ソ フ ト ウ エ ア	3,897,000	そ の 他 の 積 立 金	0
退 職 給 付 引 当 資 産	4,525,957	次 期 繰 越 活 動 収 支 差 額	583,766,325
長 期 前 払 い 費 用	636,704	(うち当期活動増減差額)	27,697,235
そ の 他 の 固 定 資 産	31,020	純 資 産 の 部 合 計	1,221,796,811
資 産 の 部 合 計	1,459,470,518	負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	1,459,470,518

平成29年4月1日～平成30年3月31日 **資金収支計算書** (単位 円)

収入の部		支出の部	
介護保険事業収入	487,838,441	人件費	314,957,311
障害福祉サービス等事業収入	2,335,740	事務費	50,516,418
借入金利息補助金収入	408,120	事業費	63,731,594
経常経費寄附金収入	40,000	利用者負担軽減額	722,525
受取利息配当金収入	92,956	支払利息支出	4,742,470
その他収入	5,471,022	その他支出	3,425,994
		流動資産評価損等による資金減少額	48,018
		設備資金借入金元金償還支出	22,040,000
		固定資産取得支出	6,815,080
		積立資産支出	276,000
		ファイナンス・リース債務の返済支出	732,240
合計	496,186,279	合計	468,007,650
		収支差額	28,178,629
		前期末支払資金残高	337,406,144
		当期末支払資金残高	365,584,773

平成29年4月1日～平成30年3月31日 **事業活動計算書** (単位 円)

収益の部		費用の部	
介護保険事業収益	487,838,441	人件費	315,914,107
障害福祉サービス等事業収益	2,335,740	事務費	50,755,182
経常経費寄附金収益	40,000	事業費	63,731,594
借入金利息補助金収益	408,120	利用者負担軽減額	722,525
受取利息配当金収益	92,956	減価償却費	60,524,559
その他サービス活動外収益	5,471,022	国庫補助金等特別積立金取崩額	-31,327,392
施設整備等補助金収益	0	徴収不能引当金繰入	0
固定資産売却益	0	支払利息	4,742,470
		その他のサービス活動外費用	3,425,994
		固定資産売却損・処分損	5
		国庫補助金等特別積立金積立額	0
		その他の特別損失	0
合計	496,186,279	合計	468,489,044
		当期活動増減差額	27,697,235
		前期繰越活動増減差額	556,069,090
		当期末繰越活動増減差額	583,766,325
		基本金取崩額	0
		次期繰越活動増減差額	583,766,325

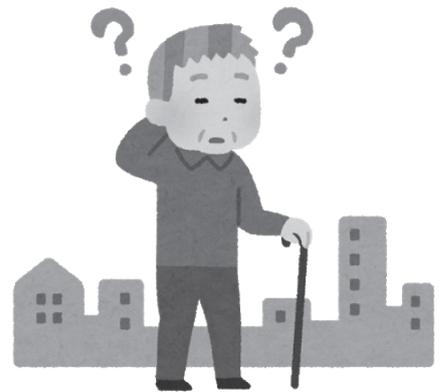
認知症のはなし

「アルツハイマー病治療薬・フランスで医療保険から外れる。変わる認知症治療」

こんな話題が2018年6月にありました。ご存知ですか。今回の話はフランスのことで日本の状況に適用されるかはわかりません。が、日本でアルツハイマー病などの認知症治療薬に使われているお金は年間1500億円以上と聞けば、今後なんらかの影響はあるだろうと予想されます。

認知症については生活環境や周囲の対応を工夫することで生活の質が上がり、自立して暮らせる期間が伸びることがわかってきました。認知症と診断された方が多く生活している灯光園ですが、みなさん穏やかに生活をされています。かつてはケアに苦慮することも多々ありましたが10人の入居者に固定した職員がケアするユニットケアになり落ち着いた生活ができるようになりました。

いま認知症への対策は、「薬



でなんとかする」から薬はひとつの手段と位置づけ認知症を抱える人の環境全体を整える「薬からケアへ」という方向に変わってきているようです。今回のフランスの決定はそのひとつの現れと言えるかもしれません。

木を見て森を見ず

森の中のすべての木を一本一本見ることができるとは出来ませんが、森全体を見渡すことが出来ない状態です。不必要なものはないという適度の忘却は要点をまとめるために必要なこと。物忘れで不安を感じるより少しぐらい物忘れをした方がよいと前向きな気持ちでいきましょう。

ボランティア活動

～あいがとう～

灯光園

○五月

J A ハイナン珍ドン隊様
(ちんどん)

明るい社会づくり運動

御前崎地区協議会様

(車椅子清掃)

○六月

御前崎市文化協会

恭の会様

(銭太鼓演舞披露)

御前崎市和のマナー教室様

(呈茶)

曾根 紀久雄様

加藤 芳子様

齋藤 さと子様

(芋苗植え)

灯光園デイサービス

○五月

川口 節子様
(絵手紙)

清水 ソノ子様

(カラオケ支援)

鈴木 喜夫様

(俳句教室)

松下 肇様

(のこぎり演奏)

○六月

川口 節子様

(絵手紙)

清水 ソノ子様

(カラオケ支援)

鈴木 喜夫様

(俳句教室)

下岬老人会様

(カラオケ披露)



編集後記

今年は例年に増して暑い日が続きましたね。いよいよ立秋も過ぎ、朝晩は涼しく感じるようになってきました。季節の変わり目を乗り切るために、十分な栄養と睡眠を心がけましょう。

